ひまわりだより

NO.223

2016年12月

巾上ひまわり薬局　松本市巾上10－5　TEL 0263-35-4441
FAX 0263-37-5561
塩尻ひまわり薬局　塩尻市長畝230－3　TEL 0263-51-5311
FAX 0263-51-5322

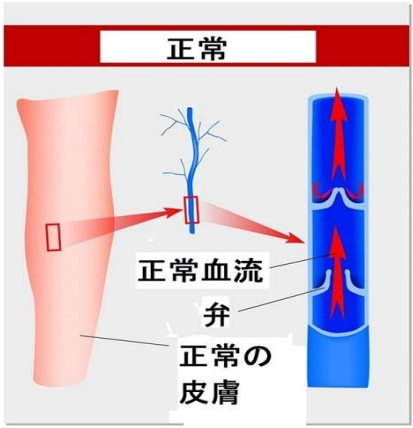
定 休 日　日曜・祝日

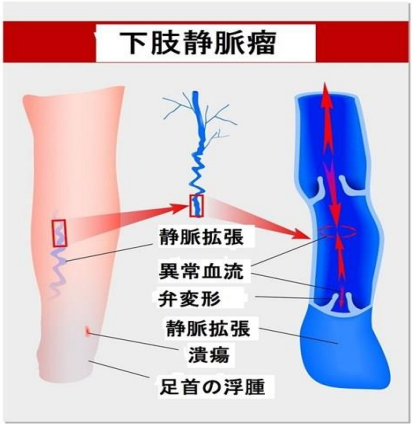
今年も残すところあとわずかとなってきました。
インフルエンザも流行ってきているので、体調を崩さないよう気を付けてください。
今回は下肢静脈瘤（かしじょうみゃくりゅう）についてです。

下肢静脈瘤とは

脚の静脈に血液がたまり、蛇行したり、こぶのように膨らんだりする病気です。急激に悪化したり命の危険性はない病気ですが、見た目が気になりスカートがはけない、夕方になると脚がむくんでだるい、こむら返りが起こるなど脚の不快な症状が続くと、生活の質を大きく低下させます。悪化すると色素沈着や湿疹・潰瘍ができることもあります。
下肢静脈瘤は 40 歳以上の女性に多く認められ、年齢とともに増加していきます。患者数は 1000 万人以上と推定され、出産経験のある女性の２人に１人が発症するというデータもあります。

脚の静脈では、脚よりも上方にある心臓に向かって、重力に逆らって血液を戻しています。この時血液が下方に逆流するのを防いでいるのが、ポンプの役割を果たす「筋肉」と、静脈内に数ｃｍ置きにある「弁(静脈弁)」です。
ところが、長時間の立ち仕事、妊娠・出産、遺伝的体質などの理由でこの弁が壊れてしまうことがあります。すると血液の逆流が起こり血液が心臓に戻りにくくなって脚の静脈に溜まり(うっ血)、この状態が続くと、次第に血管壁にかかる圧力が高くなって、静脈を押し広げます。その結果、血管が曲がりくねったり、こぶのように膨らんで浮き上がったりしてくるのです。
しかし、下肢静脈瘤があっても、脚の切断に至ることや命に関わるようなことはありません。





下肢静脈瘤のタイプ

下肢静脈瘤は目で見た静脈の太さによって伏在型(ふくざいがた)・側枝型(そくしがた)・網目状・クモの巣状の 4 種類に分類されます。

下肢静脈瘤の種類は大別して以下の4つに分けられます

〈伏在静脈瘤〉

足の表面近くにある静脈のうち、本幹となる太い血管が「伏在静脈」です。こぶのように拡張した状態を伏在静脈瘤といいます。

〈網目状静脈瘤〉

径2～3mmの、皮膚の直下の小さな静脈の拡張で、網の目状の広がりを示します。比較的鮮明な青色となります。

〈側枝静脈瘤〉

伏在静脈より枝分かれした、さらに先の部分が、拡張してきたものです。比較的、膝から下の部分に見られます。

〈クモの巣状静脈瘤〉

皮膚の表面（表皮）の下の、径0.1～1.0mmの極めて細い血管が拡張したものです。盛り上がりが少なく、赤紫色になります。

下肢静脈瘤の治療法

下肢静脈瘤の治療の中心は手術ですが、すべての患者さんに手術が必要というわけではありません。症状の程度や患者さんの希望を考慮して、治療を受けるかどうか、治療の種類（保存療法・手術）などを選択します。

●保存療法

症状をやわらげたり進行を予防するために、生活習慣を改善し長時間の立ちっぱなし、座りっぱなしを避けたりマッサージをしたりしてなるべく脚を動かしたり、弾性ストッキングを着用し、外側から脚に適度な圧力を加えて、余分な血液がたまるのを抑えたりします。

●手術

下肢静脈瘤を根本的に治す治療で、焼灼(しょうしゃく)術、抜去法、硬化療法の３つがあります。

① 焼灼術：静脈内に細いカテーテルを入れ、高周波(ラジオ波)またはレーザーを使い血管を焼き、塞ぎます(血管内焼灼治療)。傷痕が小さく、出血や痛みが少ないなど体への負担が小さいため現在の治療の主流となっています。

② 抜去法(ストリッピング)：静脈瘤のできている静脈を引き抜いてしまう方法。焼灼術が普及するにつれ、現在は行われることは少なくなってきました。

③ 硬化療法：静脈瘤に薬を注射して血管を固めてしまう治療。焼灼術を行ったあとに残った静脈瘤の治療などに補助的に使われています。

医療機関では、問診、視診・触診、超音波検査などで、背景にほかの病気がないか、静脈弁の異常や静脈瘤の有無、皮膚の状態、逆流の程度や範囲などをしらべます。どの検査も痛みや負担などがほとんどなく行える検査ですので気になる場合には専門の医療機関を受診しましょう。

✤✤ ひまわり薬局ではホームページも開設しています ✤✤

http://www.himawari-ph.nagano.jp/

こちらも是非、ご覧ください ☺